

平成 21 年 2 月 6 日

WHO-FIC インド会議について

主 催： WHO、WHO-FIC インド協力センター共催
開催期間： 平成 20 年 10 月 25 日(土)～11 月 5 日(水)
会 場： インド国デリー市マネッサー
ヘリテージ・ビレッジ
参 加 者： WHO、協力センター、厚生、統計関係部局、オブザーバー等約 100 名が参加

主な議題について：

(1) アジア太平洋地域における公衆衛生情報化の現状に関する報告

- * オーストラリア、カナダ、フィンランド、フランス、インドネシア、イタリア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、パキスタン、韓国、スリランカ、タイ、英国、米国、ベトナム

(2) 各種委員会報告

● 諮問委員会(Council)

- * 新規研究協力センター登録国の紹介
- * 次回WHO-FIC 諮問会議、RSG会議
2009年4月20日～27日 於：韓国(ソウル)
- * 次年度WHO-FIC年次会議
2009年10月10日～18日 於：韓国(ソウル)
- * 各レファレンスグループの共同議長選挙の報告
- * ICNP(国際看護分類)を関連分類として正式に承認

● 普及委員会(Implementation Committee(IC))

- * 各国の普及状況に関するデータベース設置について報告、アップデートの依頼
- * ICFの地域ネットワークについて、フランス語圏、南米、ヨーロッパからの報告、アジア・パシフィック地域でのネットワーク形成の可能性の検討

- 分類改正改訂委員会(Updating and Revision Committee (URC))
 - * ICD の改正について 202 議題について審議；
 - ・ 133 提案受け入れ
 - ・ 5 提案持ち越し
 - ・ 46 提案削除又は、取り下げ
 - ・ 18 提案 ICD-11 の TAG へ
 - ・ 12 提案情報提供
 - * ICD の大改正(Major update)については、ICD-11 の改訂が実行される 2015 年までに、2010 年に加えて、2013 年、2016 年(適用の遅延を見越して)の 3 回実施。

- 教育委員会(Education Committee(EC))
 - * 疾病コーディング認定プログラム作成作業の継続
 - * 生活機能分類(ICF)教育カリキュラム第 1 版の報告

- 電子媒体委員会(Electronic Tools Committee(ETC))
 - * 次世代死亡統計システム(IRIS)の開発報告
 - * ICD-11 改訂作業ツール(HIKI)の開発報告

- 国際分類ファミリー拡張委員会(Family Development Committee(FDC))
 - * 医療行為の国際分類(ICHI)の開発停止の検討
 - * 医療サービスの分類、各国の状況について議論

- 死因分類改正グループ(Mortality Reference Group (MRG))
 - * 死因分類に関する 45 議題を議論；
 - ・ 術後合併症の選択に関するルール
 - ・ 多発外傷の主要傷病選択手順
 - ・ 死亡統計での活用に ICD が必要とされる機能(ユースケース)に関する報告等

- 疾病分類グループ(Morbidity Reference Group (MbRG))
 - * 主要病態の選択手順の検討
 - * 改訂運営会議の内科部会への意見書の提出

- ターミノロジーグループ(Terminology Reference Group (TRG))
 - * ICD-10 と SNOMED-CT とのマッピング作業報告
 - * ICD 改訂のための疾病モデルの検討

- 生活機能分類グループ(Functioning and Disability Reference Group (FDRG))
(コーディングルール、改正、ICD との調和、評価と活用、教育、環境因子、ターミノロジーに関する 8 つのプロジェクトチームにより構成)
 - * ICF-CY 追加項目による改正作業の試行開始
 - * ICF 教育カリキュラム第1版の報告
 - * コーディングガイドラインの作成作業に関する報告

- 第3回アジア・パシフィック ネットワークミーティング
 - * アジア地域における死亡統計や疾病統計の精度向上に向けた取り組みに関する報告
 - * ホームページの立ち上げなどの情報共有を促進する取り組みに関する報告

- 改訂の動向について
 - * 筋・骨格系 TAG、皮膚 TAG の設置の了解
 - * シュート先生より、インフォメーションモデルの最新版に関する報告
 - * 菅野先生より、インフォメーションモデルの問題点に関する報告
 - * 2009 年(平成 21 年)4 月 7 日(火)から 9 日(木)の 3 日間、日本においてWHO 内科TAG国際会議を開催

WHO-FIC 年次総会 URC 投票結果について

2008 年 10 月 26 日及び 28 日インドのデリーにおいて改正改訂委員会(update revision committee)が開催された。参加国は米国、カナダ、豪州、フランス、ドイツ、スウェーデン、ブラジル、インド、韓国、タイ、日本であった。

委員会決定の原則は全会一致であるが、不一致が生じた場合は WHO 担当官及び研究協力センター各国一票ずつの投票が行われる。反対意見を述べない限りは賛成と見なされる。

1) 投票の結果について

提案 202 件

受理 133 件

＜主な受理された提案＞

- ・ 白血病、悪性リンパ腫の索引の変更
- ・ 敗血症性ショックのコード追加
- ・ HELLP のコード追加
- ・ メタニューモ・ウイルスのコード追加
- ・ 癒着胎盤のコード追加 等

先送り 23 件

否決・取り下げ 46 件

(12 件は MRG からの情報提供のみで投票されず)

2) 日本の意見について

受理 5 件 (顕微鏡性大腸炎、歯髄炎、タリウム 等)

先送り 3 件

否決・取り下げ 7 件

3) 提案する際の課題について

- ・ ICD 改善の提案の記述様式 → 具体性
- ・ ICD の構造やルール沿った提案 → 保守性
- ・ 慣習や言語の問題ではない → 普遍性